

# エコアクション21 環境活動レポート

## =太陽光発電パネルの販売取組み=



宮島の大鳥居

環境と化学のコーディネーター

## ソーダニッカ株式会社

本社:東京

支店:札幌 仙台 名古屋 大阪 広島 高松 福岡

## 目 次

ご挨拶 .....	P. 1
企業理念に基づく環境経営基本方針 及び 環境方針 .....	P. 2
1. 事業の概要 .....	P. 3
2. ソーダニッカ（株）の環境管理組織 .....	P. 4
3. 環境目標の達成状況（2014 年度） .....	P. 6
4. 環境目標の取組結果（2014 年度）と今後の対応 .....	P. 7
5. 環境目標（2015 年度） .....	P. 8
6. 環境目標に関する補足説明 .....	P. 9
(1) 取組実績の推移について	
(2) 電力消費量の削減について	
大野ケミカルセンターにおける太陽光発電量	
(3) 廃棄物排出量の削減について	
エコキャップ回収活動	
(4) 化学物質の管理について	
PRTR 法該当化学物質	
ケミカルセンターの化学物質	
ケミカルセンターの防災訓練	
(5) 営業部門の環境貢献活動について	
太陽光発電パネルの販売取組み	
(6) 地域の環境保全活動について〈2014 年度〉	
各事業所の環境保全活動への参加	
(7) その他の環境活動について	
エコ検定（環境社会検定試験）合格者数	
(8) マニュアルの主な変更点	
7. 環境関連法規等の遵守状況 .....	P. 19
8. 代表者による全体の評価と見直し .....	P. 20
9. 10 周年記念表彰について .....	P. 21
10. 表紙の写真について	

## ご挨拶

現在、世界的に環境問題がクローズアップされており、環境を無視して会社経営は考えられません。「環境と化学をコーディネートし、社会に貢献する」を標榜する当社としては、地域社会を含めた全ての皆様の信頼を得るために、環境保全に力を入れて活動していく所存です。



ソーダニッカ株式会社は、1947年の設立以来、ソーダ製品をはじめ無機・有機薬品、石油化学製品、合成樹脂製品などを取扱う化学品専門商社として長年にわたり国内産業界の発展をサポートしてまいりました。

全国をカバーするネットワークの構築により、仕入先、販売先から厚い信頼をいただく一方、か性ソーダなどの主力製品の安定供給をより確かなものにする目的から全国4ヶ所にケミカルセンターを設けております。

化学品は人々の生活を支えるあらゆる産業と深く関わっており、当社は基礎原料から、時代の変化とともに産みだされる多機能な新素材まで幅広い商品を取扱っております。

常に最新の情報を先取りし、積極的な提案や商品・サービスを提供すること、また環境対策にも積極的に取組むことで社会に貢献することが、当社に課せられた使命だと受け止めております。

21世紀に入り経済のグローバル化は一段と進み、それに呼応するように国内の産業構造も大きく変化してきました。一方、人々の生活を豊かにしてきた文化は、天然資源を枯渇させ、二酸化炭素排出による地球温暖化という負の課題を派生させ、また国内では東日本大震災に起因した原発問題から将来のエネルギー問題が大きな課題となっております。

このような時代背景の中で、当社は国内では輸入品を含めた化学製品の販売をコア事業とし、太陽光発電ビジネスを中心とした環境関連製品を戦略商品に位置付けて成長を目指します。また巨大化するアジア市場を視野に中国・アセアン地域を中心とした営業展開を進めてまいります。

近年、社会の多様化とともに企業の社会的責任が問われるようになりました。当社は、コンプライアンス経営と環境配慮活動を積極的に推進することにより、あらゆるステークホルダーの信頼に応えていく方針です。

代表取締役社長 **長洲 崇彦**

## 企業理念に基づく環境経営基本方針

ソーダニッカは、化学品専門商社として日本の基礎産業である化学工業にたずさわっており、化学工業薬品、合成樹脂原料・製品、産業用機器類の販売を行っている。また、主力薬品については、安定供給策として保管業務も行っている。

これらの事業をグローバルに展開する企業として、企業理念に掲げる『信用を第一』に『社会に貢献する』企業でありつづけるために、地球環境保全への取組みをソーダニッカにおける最重要課題と位置づける。

### 環 境 方 針

ソーダニッカ株式会社は、企業経営を通じて地球環境へ配慮していくことを目的に、以下のことを実施していきます。

#### 1. 事業活動を通じた地球環境保護への取組み

企業経営において環境負荷の低減に積極的且つ継続的に取り組んでいくために、自ら定めた目標に向かって全社員が自主的に行動する。また、営業活動においては環境負荷の少ない商品・技術・サービスを社会に提供するとともに、ケミカルセンターにおいては安全管理と環境保全に努めていきます。

#### 2. 資源・エネルギーの効率的利用

資源・エネルギーの消費や廃棄物の排出状況等をチェックし、環境への負荷を常に認識し、Reduce(廃棄物削減)、Reuse(再使用)、Recycle(再利用)、新エネルギー等の活用、グリーン購入に取組みます。

#### 3. 環境関連法規の遵守

関連する環境法規制・基準及びその他の同意する要求事項を遵守します。

#### 4. 継続的環境改善への取組み及び地域社会との共生

環境保全に関する目標を設定し、取組み結果を見直すなど継続的な環境改善に取り組むとともに、地域社会との共生を実践するために社会貢献活動に積極的に参加していきます。

#### 5. 環境活動の定着と環境情報の公表

全従業員に対して、この環境方針の周知徹底を図るとともに、環境教育を計画的に行い、環境保全活動の定着、向上に努めます。また、環境行動計画及びその実施状況並びに環境関連情報については『環境活動レポート』に取りまとめて公表します。

2012年5月2日

ソーダニッカ株式会社

代表取締役社長 長洲 崇彦

## 1. 事業の概要

企業名	ソーダニッカ株式会社 <a href="http://www.sodanikka.co.jp">URL:http://www.sodanikka.co.jp</a>
本社所在地	東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント5F
代表者	代表取締役社長 長洲 崇彦
創立	1947年4月1日
資本金	37億6,250万円(2015年10月1日現在) (東京証券取引所 第一部上場)

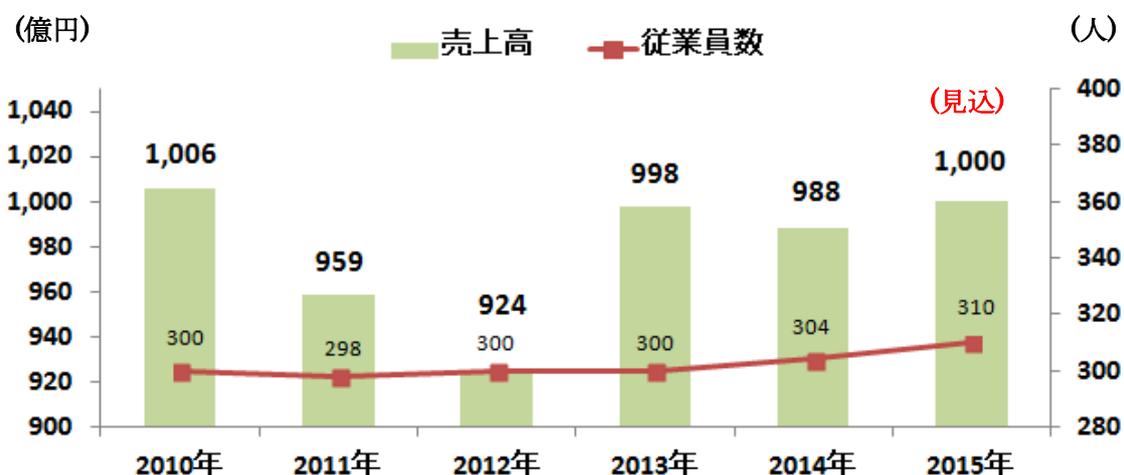
### ◆環境責任者及び環境担当者

環境責任者	執行役員・業務部門長 増澤 茂
担当部署	ソーダニッカEMS委員会 事務局
環境担当者	池田 和之(事務局・担当)
連絡先	電話 03-3245-1818 FAX 03-3245-1869

### 主な事業内容

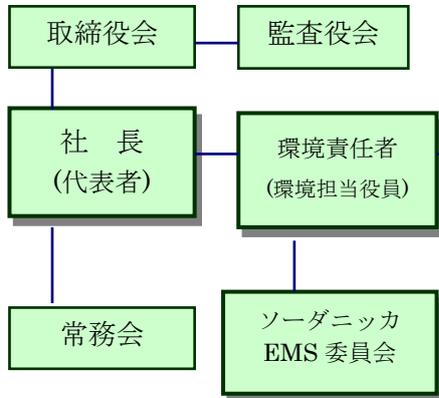
化学工業薬品・石油化学製品・合成樹脂及び加工製品・電子材料・各種機器容器等の売買及びこれに伴う製造、化学工業設備・同機器の設計製作及び施工、建設業法による工事の請負

### ◆事業規模(売上高と従業員数の推移)(2015年3月31日現在)



## 2. ソーダニッカ(株)の環境管理組織

2015年度 (2015年4月1日付)



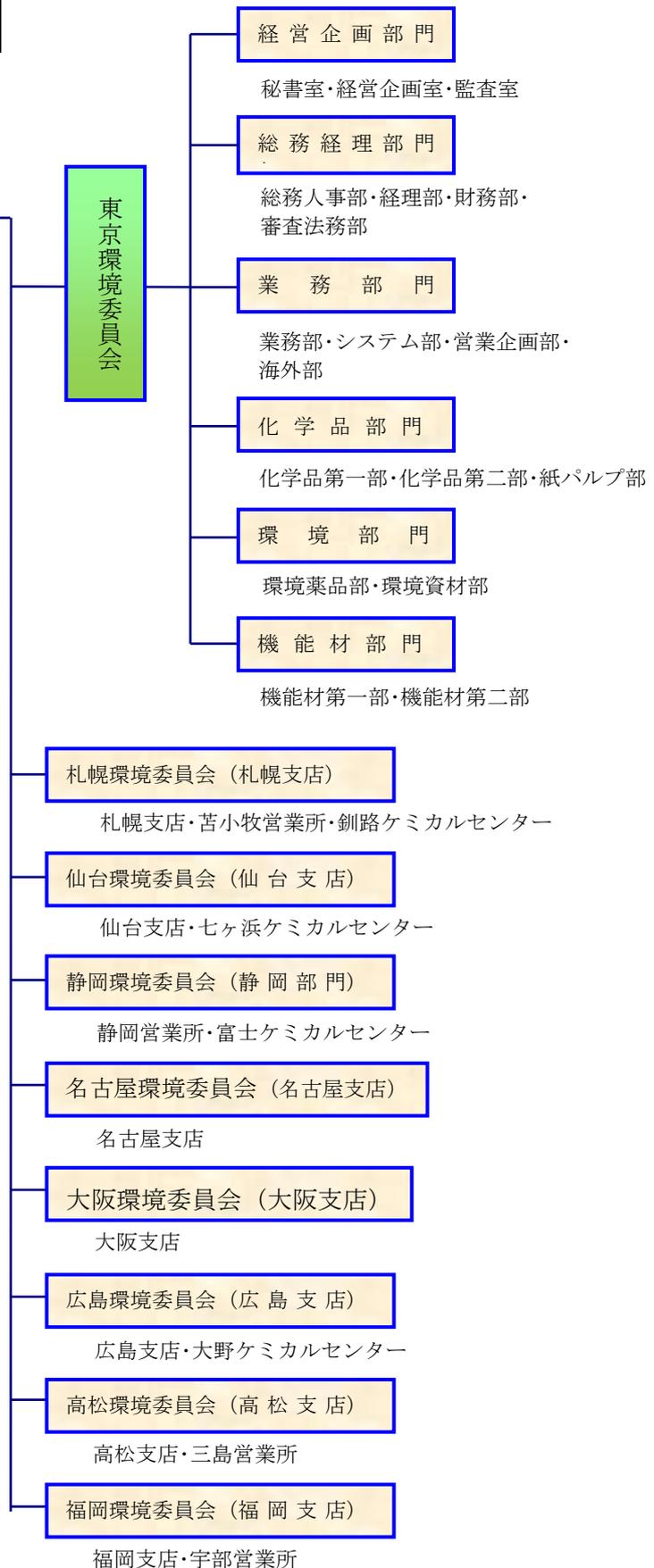
### 内部環境監査制度

所定の研修を受講し、試験に合格した者の中から社長に任命された監査員が担当する。

内部環境監査要領により各部門（支店を含む14部門）ごとに年1回以上実施する。

監査員は、社長、環境責任者の直轄となっている。

東京環境委員会は、本社6部門の集合体とし、各部門の目標及び本社全体の目標達成に向けて連携していく。



◆エコアクション 21 認証登録の対象範囲

◆事業規模 (2015年4月1日現在)

1. オフィス

	床面積(m <sup>2</sup> )	役職員数(人)
本社(東京)	2,014	187
静岡営業所	204	8
札幌支店	271	10
苫小牧営業所	57	4
仙台支店	182	12
名古屋支店	255	12
大阪支店	446	27
広島支店	143	9
高松支店	235	11
三島営業所	166	4
福岡支店	334	13
宇部営業所	129	6
合計	4,436	303

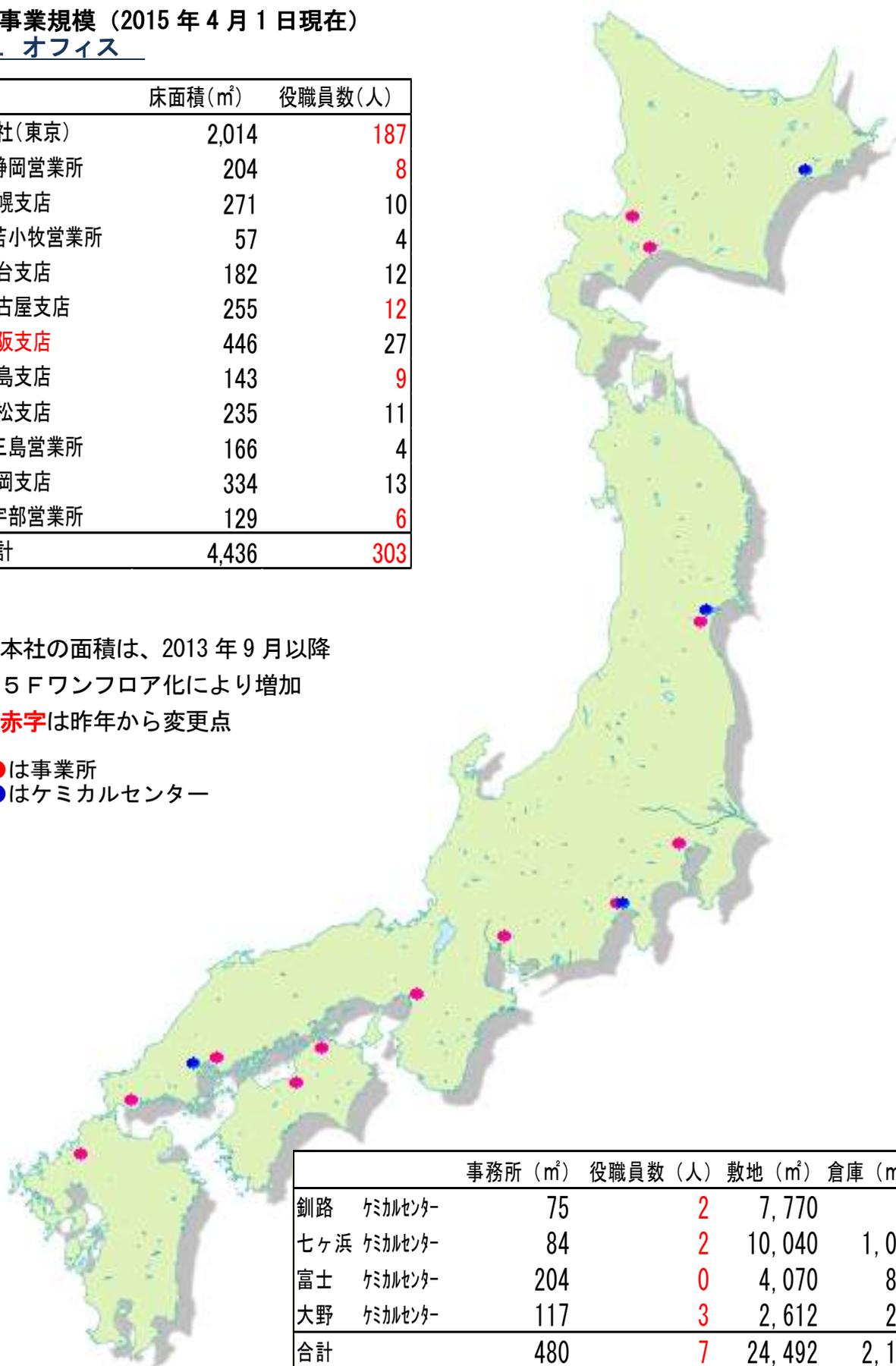
※本社の面積は、2013年9月以降

5Fワンフロア化により増加

※赤字は昨年から変更点

●は事業所

●はケミカルセンター



	事務所(m <sup>2</sup> )	役職員数(人)	敷地(m <sup>2</sup> )	倉庫(m <sup>2</sup> )
釧路 ケミカルセンター	75	2	7,770	—
七ヶ浜 ケミカルセンター	84	2	10,040	1,011
富士 ケミカルセンター	204	0	4,070	827
大野 ケミカルセンター	117	3	2,612	264
合計	480	7	24,492	2,102

### 3. 環境目標の達成状況 (2014年度)

取組項目	単位	基準年度	年度目標	実績	達成状況
		2010年度	2014年度	2014年度	
二酸化炭素排出量の削減	t-CO <sub>2</sub>	483.2	468.7 (△3.0%)	452.8 (△6.3%)	○
電力消費量の削減	kWh	640,415	621,203 (△3.0%)	601,416 (△6.1%)	○
ガソリン消費量の削減	L	48,562	47,105 (△3.0%)	42,180 (△13.1%)	○
紙使用量の削減	kg	8,919	8,651 (△3.0%)	9,455 (+6.0%)	×
廃棄物排出量の削減 (紙+プラ)	kg	1) 再資源化に努め、排出量は前年を越えないこと。 (2013年実績 18,126) 2) エコキャップ回収活動を推進する。		17,843	○
節水と排水管理 《生活水》 《排水》	m <sup>3</sup>	《生活水》 前年度を越えないこと (2013年実績 1,065) 《排水》 現状把握を行なう (2013年実績 997)		1,098  1,092	×  —
グリーン購入の取組み	—	グリーン調達ガイドラインに則り、環境配慮型製品を使用する。			○
化学物質の管理	—	社内規定に則った作業手順、保守管理基準、防災マニュアルにより、安全と環境保全に努め、ケミカルセンターにおける災害発生を未然に防止する。			○
営業部門の環境貢献活動	—	1) 3Rの推進及び新エネルギー等の活用を積極的に提案する。 2) 環境配慮型の製品・技術の開発・普及に努める。 3) 取り組み内容を環境活動レポートにて公表する。 4) P R T R法該当化学物質の年間販売量を把握する。			○
地域の環境保全活動	—	環境保全に係るボランティア活動等に参加し、地域社会との共生を推進する。			○
その他の環境活動	—	環境啓蒙活動の一環でエコ検定の受験を推奨する。			○

\* 二酸化炭素排出係数は、2007年の各電力会社の数値を使用しています。

\* 「電力消費量の削減」には、大野ケミカルセンターの太陽光分は含まれない。(△7,623kWh)

\* 「ガソリン消費量の削減」には、フォークリフト分は含まれない。

## 4. 環境目標の取組結果（2014年度）と今後の対応

取組項目	取組結果	今後の対応
二酸化炭素排出量の削減	数値目標達成	取組継続
電力消費量の削減	2014年8月より本社のエコデーを1日/月から2日/月に増やしたことにより、数値目標達成。	取組継続
ガソリン消費量の削減	ハイブリット車導入以降も、公共交通機関等の利用促進とエコドライブの啓蒙活動により、数値目標達成。	取組継続
紙使用量の削減	裏紙在庫の不足状態が続き、数値目標未達。	両面印刷を徹底する
廃棄物排出量の削減	数値目標達成	取組継続
節水と排水管理 《生活水》 《排水》	生活水については、静岡営業所で運送会社が管轄する外トイレの故障により増加となった。	修理済
グリーン購入の取組み	グリーン調達ガイドラインに則り、環境配慮型製品を使用した。	購入率を把握する
化学物質の管理	ケミカルセンターは、毎月の安全会議・年1回の防災訓練で安全管理を行なった。 本社及びケミカルセンターの関係者で、年1回の全国物流管理者会議を開催し、事故防止に努めた。	取組継続
営業部門の環境貢献活動	太陽光パネルの販売は順調に推移した。	取組継続
地域の環境保全活動	全事業所で環境活動に参加した。	取組継続
その他の環境活動	エコ検定に8名合格した。	取組継続

## 5. 環境目標 (2015年度)

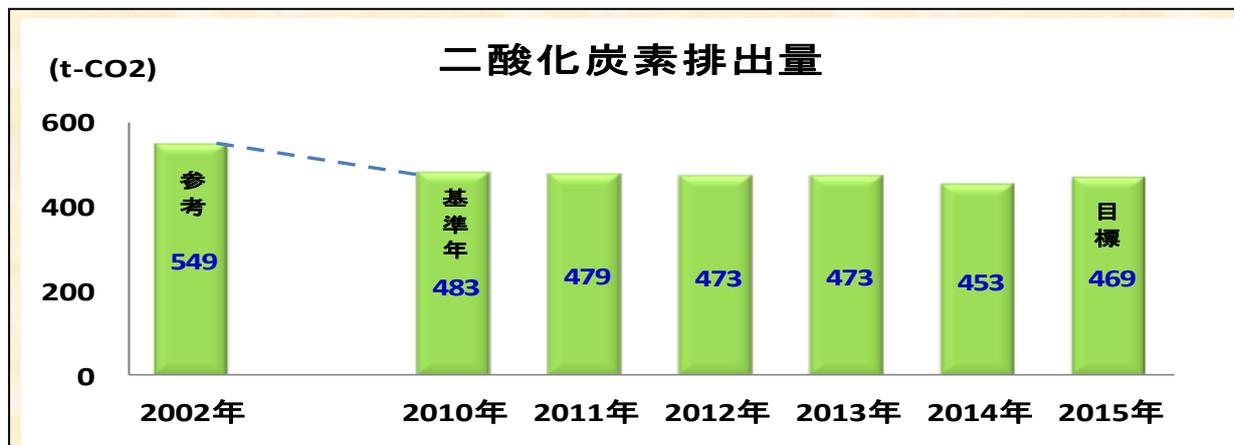
取組項目	単位	基準年度	年度目標	中長期目標
		2010年度	2015年度	
二酸化炭素排出量の削減	t-CO <sub>2</sub>	483.2	468.7 (△3.0%)	2016年度より再設定 の為、見直し中。
電力消費量の削減	kWh	640,415	621,203 (△3.0%)	
ガソリン消費量の削減	L	48,562	47,105 (△3.0%)	
紙使用量の削減	kg	8,919	8,651 (△3.0%)	
廃棄物排出量の削減	kg	(2014年実績) 17,843	1) 再資源化・排出量削減に努め、排出量は 前年度を越えないようにする。 2) エコキャップ回収活動を推進する。	
節水と排水管理 《生活水》 《排水》	m <sup>3</sup>	(2014年実績) 1,098 1,092	《生活水》 前年度を越えないこと 《排水》 現状把握を行なう	
グリーン購入の取組み	%		1) グリーン調達ガイドラインに則り、環境配慮型製品を使用する。 2) 対象製品が多岐にわたる為、特定製品を対象とせずに、 現状の購入点数（購入率）を把握する。	
化学物質の管理	—		社内規程に則った作業手順、保守管理基準、防災マニュアルにより、 安全と環境保全に努め、ケミカルセンターにおける災害発生を未然 に防止する。	
営業部門の環境貢献活動	—		1) 3Rの推進及び新エネルギー等の活用を積極的に提案する。 2) 環境配慮型の製品・技術の開発・普及に努める。 3) 取組み内容を環境活動レポートにて公表する。 4) PRTR法該当化学物質の年間販売量を把握する。	
地域の環境保全活動	—		環境保全に係るボランティア活動等に参加し、地域社会との共生を 推進する。	
その他の環境活動	—		環境啓蒙活動の一環でエコ検定の受験を推奨する。	

\*二酸化炭素排出係数は、2007年の各電力会社の数値を使用しています。

\*二酸化炭素排出係数は、次年度以降は、最新の係数に変更を予定しています。

## 6. 環境目標に関する補足説明

### (1) 取組実績の推移について



2002年度は当社がEMS委員会を発足させ、EA21認証登録に向けた作業を開始した年です。

CO<sub>2</sub>排出係数(単位: Kg-CO<sub>2</sub>/kWh)は、2007年の各電力会社の数値を使用しています。

北海道電力: 0.517、東北電力: 0.473、東京電力: 0.425、中部電力: 0.470

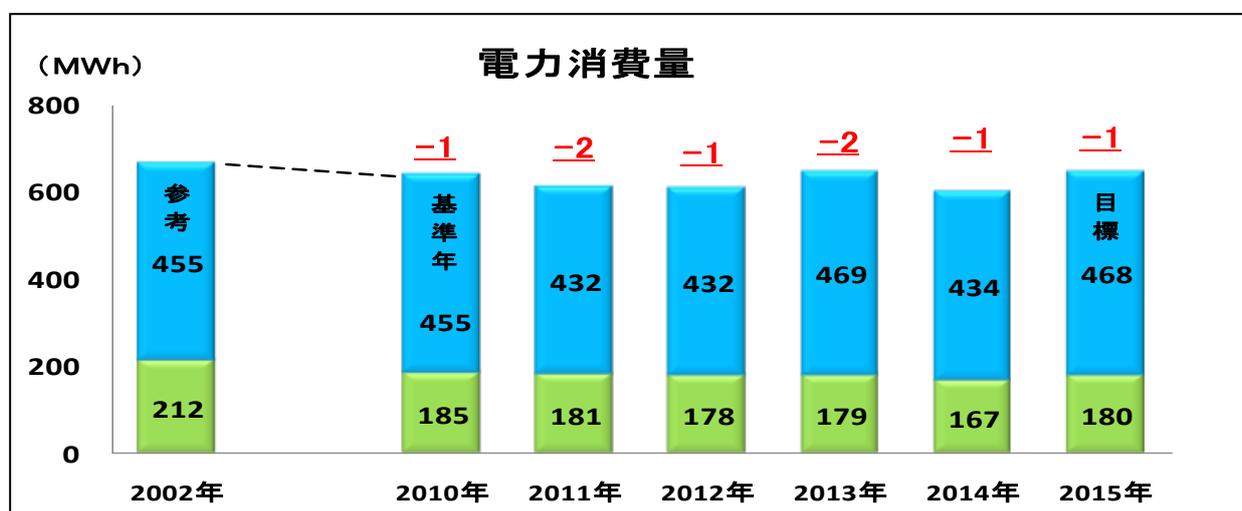
関西電力: 0.366、中国電力: 0.677、四国電力: 0.392、九州電力: 0.387

他石油製品のCO<sub>2</sub>排出係数は、「EA21ガイドライン2009年版」の数値を使用しています。

2014年二酸化炭素排出量=事務所+ケミカルセンター

事務所 (割合 62.4%) 283 t-CO<sub>2</sub> △7.8% (2010年度比)

ケミカルセンター (割合 37.6%) 170 t-CO<sub>2</sub> △2.8% (2010年度比)



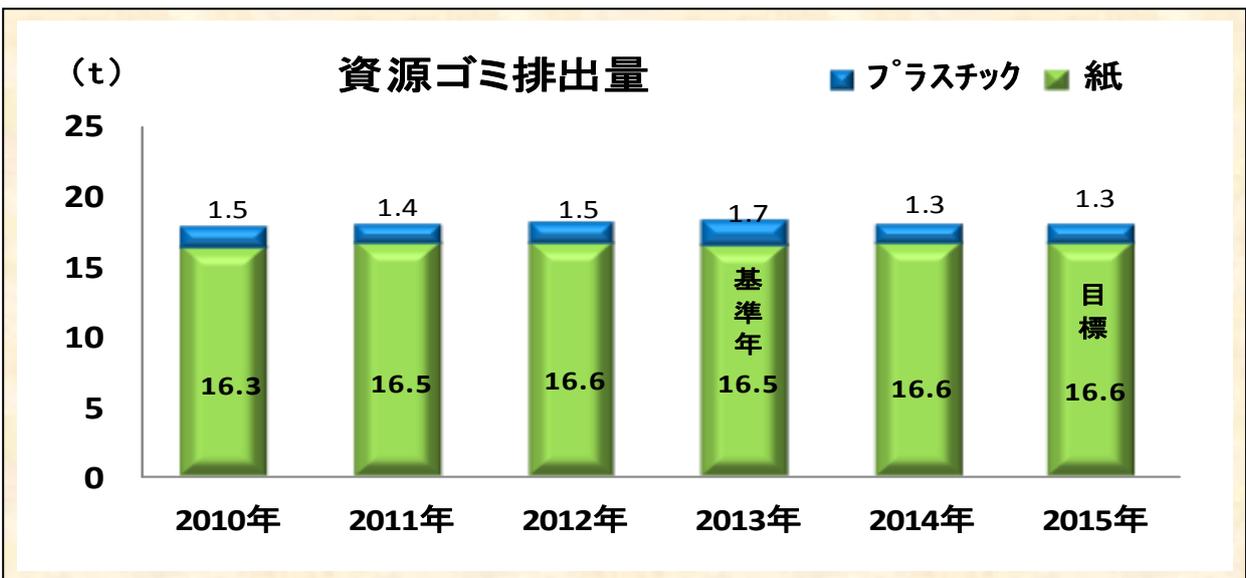
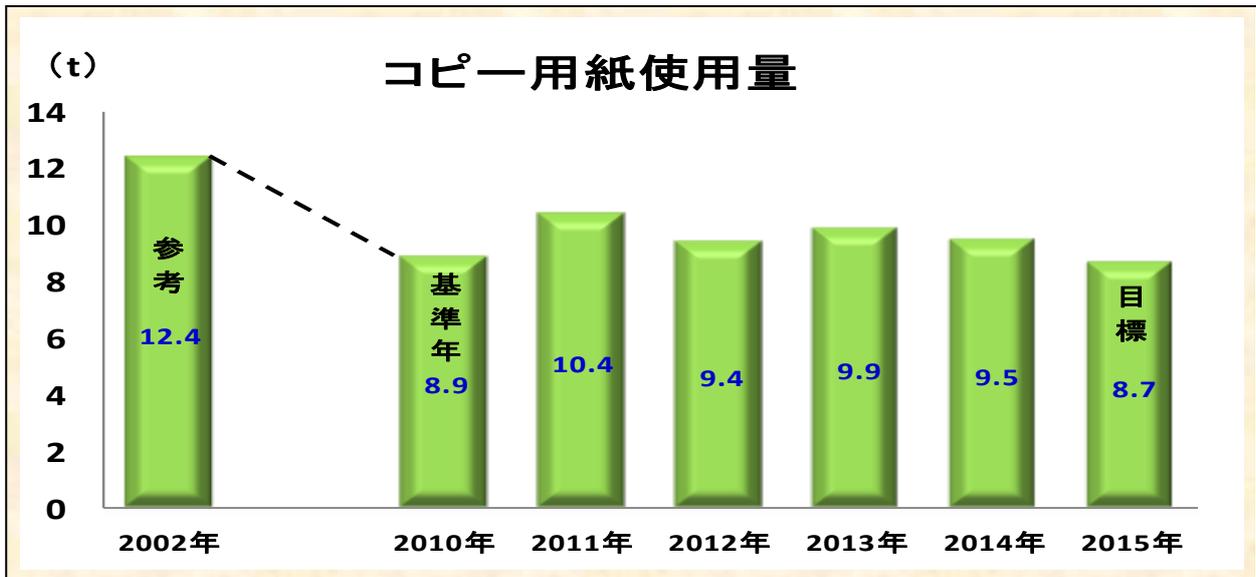
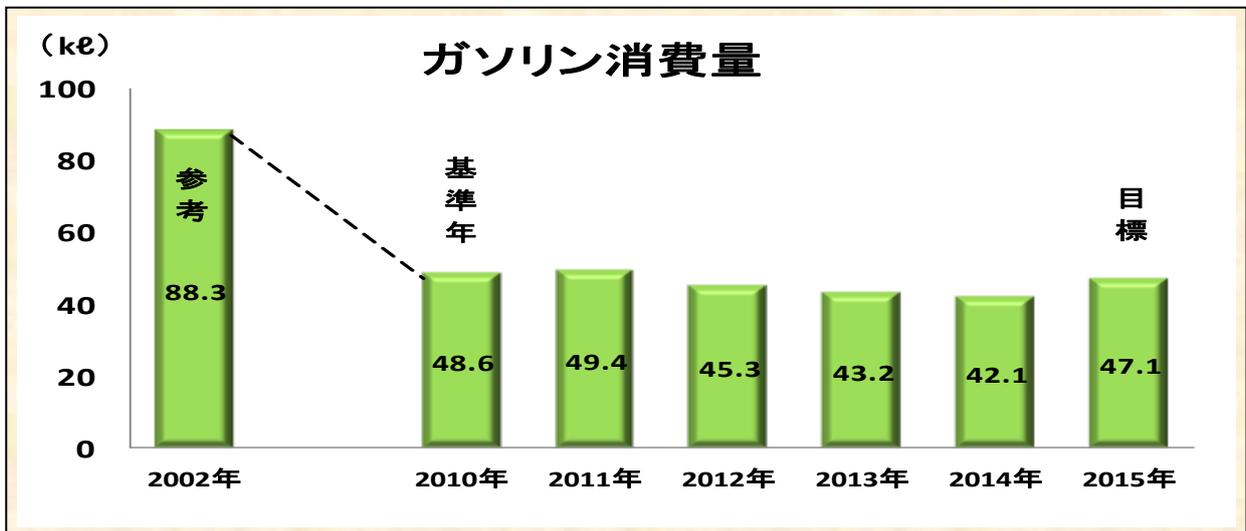
※上記グラフの内訳

- ・ オフィス電力消費量
- ・ ケミカルセンター電力消費量
- ・ マイナス数字: 太陽光発電量

2014年 電力消費量 = 事務所 + ケミカルセンター

事務所 (割合 72%) 434MWh △4.6% (2010年度比)

ケミカルセンター (割合) 167MWh △9.7% (2010年度比)



2014年 資源ゴミ排出量

紙資源 (割合 93%)	16.6 t	+0.6%	(2013年度比)
プラスチック (割合 7%)	1.3 t	△23.1%	(2013年度比)

## (2) 電力消費量の削減について

大野ケミカルセンターにおける太陽光発電量 (2014年4月1日~2015年3月31日)

**累計発電量 : 5,497kWh**      **累計売電量 : 2,126kWh**      **CO2換算量 : 3.7t-CO2**

【設置】2010年5月末日

【場所】大野ケミカルセンター (広島県廿日市市)

【能力】4.59kW

【製品】ソーラーフロンティア(株)製 CIS系

【電力会社】中国電力(株)

CO2排出係数 0.677t-CO2/kWh (2007年度)



## (3) 廃棄物排出量の削減について

エコキャップ回収 (ワクチンを含む医療支援の寄付実施)

- ・ **累積収集数 : 57,166 個** (2015年10月30日現在)
- ・ 焼却した場合の CO<sub>2</sub> 発生量に換算すると、**418.77 kg** になります。
- ・ 直近ではエコキャップ推進協会によって、ブータン・ヘルス信託基金(ブータン王国政府が WHO 本部の承認を受け正式に発足させた)に寄付を実施した。

## (4) 化学物質の管理について

2014年度「PRTR法該当物質年間販売量について」

※ 2014年度の排出実績はありませんでした。

※ 2014年度の販売量を把握しました。

・ PRTR法

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」  
(平成11年法律第86号) ※化管法

・ 該当化学物質 : 第一種 462 物質、第二種 100 物質

※ 「エコアクション 21 ガイドライン 2009 年版」による。

【結果】

- ・ 第一種指定化学物質 : **89 物質**が該当 (462 物質中) 昨年より **14 物質増**
- ・ 第二種指定化学物質 : **3 物質**が該当 (100 物質中) 昨年より **1 物質増**
- ・ 販売量 : 公表していません。

## ケミカルセンターの化学物質

### ケミカルセンター（物流基地）

当社は**毒劇物\*1**の船受け可能な物流基地を全国4ヶ所（釧路・七ヶ浜・富士・大野）に設置し、全国の物流ネットワークを構築しております。

安全面に関しても構内や輸送上での事故防止のため、定期的な安全会議や防災訓練、全国物流管理者会議を実施して、安全管理教育の徹底を図っています。

\*1)毒劇物：「毒物及び劇物取締法」で規制される毒性や腐食性が強い化学物質

### ケミカルセンターで扱う主な化学品を紹介いたします。

一般家庭ではあまり馴染みがありませんが、産業界ではよく使用される薬品です。

#### <か性ソーダ>

無色の強アルカリ性液体です。食塩水を電気分解して製造される。

主な用途：化学繊維、製紙、パルプ、化学薬品、食品工業、石鹼

#### <塩 酸>

塩化水素の水溶液です。酸性が強く、多くの金属を溶解し、塩化物を作る。

主な用途：化学薬品、アミノ酸、グルタミン酸ソーダ、酸洗用

#### <硫 酸>

無色の酸性の液体です。

主な用途：肥料原料、化学繊維、化学薬品、金属製錬

## ケミカルセンターの防災訓練

釧路ケミカルセンター 2013年12月5日(木) 実施

出席者：所長他2名

想 定：構内のローリー出荷配管からピンホールによる硫酸漏洩

対 処：事故発生 ⇒バルブ閉止 ⇒土のう配置 ⇒砂散布 ⇒吸収した砂回収



七ヶ浜ケミカルセンター 2014年9月26日(金) 実施

出席者：所長他3名、運送会社2名

想定：メッキ薬品入りポリ容器が積込み中に落下破損し漏洩

対処：事故発生 ⇒土のう配置 ⇒砂散布 ⇒吸収した砂回収 ⇒中和剤散布及び回収



富士ケミカルセンター 2014年9月25日(木) 実施

出席者：所長他7名、運送会社4名

想定：東海地震を想定し、荷卸し・積込み時の緊急対応

内容：ローリー車の緊急作業手順の確認。ポンプ制御盤の操作手順の学習。



大野ケミカルセンター 2015年9月18日(金) 実施

出席者：所長他5名、運送会社6名

想定：客先で苛性ソーダ納品中に漏洩

対処：元弁停止 ⇒土のう配置 ⇒砂散布 ⇒吸収した砂回収 ⇒中和剤散布



## (5) 営業部門の環境貢献活動について

### 太陽光発電パネルの販売取組み

#### 《販売製品》

ソーラーフロンティア株式会社 製 C I S 太陽電池モジュール

#### 《特徴》

- ①高温・影に強く「実発電量 (kWh/kW ; 設置システム規模あたりの発電量)」が高い。
- ②国内一貫生産の安心品質。 宮崎工場に続き、東北工場も稼働開始。
- ③国内メーカー最長クラスの出力保証 20 年間を標準装備。

#### 《取組みの推移》

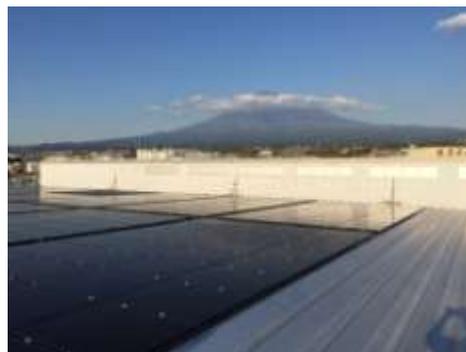
- 2009 年： 販売取組み開始  
2010 年： 5 月に広島大野ケミカルセンターに実証用 4.59kW の太陽光発電パネルを設置  
2011 年： 販売強化、実績化進展  
2012 年： 第 3 四半期より販売が本格化  
2013 年： 発電事業者の旺盛な需要により販売量増加  
2015 年： 買取り制度を活用した設備向けを中心に 2014 年程度の販売量を見込んでいる

#### 《2014 年度の結果》(期間：2014 年 4 月～2015 年 3 月)

成約物件ごとに規模の差がある為、販売総容量は 2013 年度に比べ減少したものの、2013 年度同様に買取り制度（再エネ特措法）の効果により、多数の物件を成約した。

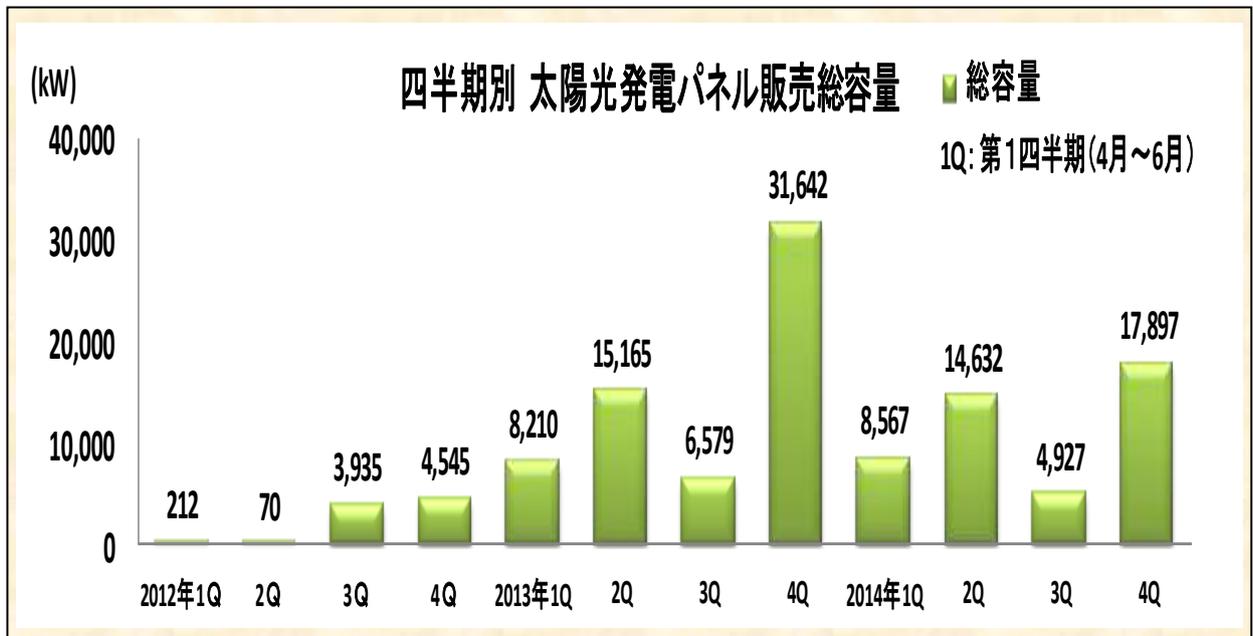
#### 《2014 年度の実績例》

施主様： 天間特殊製紙株式会社 様  
納入月： 2014 年 11 月～12 月  
引渡月： 2015 年 2 月  
場 所： 静岡県富士市  
設置容量： 594.00kW(SF165-S×3,600 枚)  
施工会社： 三菱重工冷熱株式会社 様



施主様： 有限会社浅井建材 様  
納入月： 2014 年 6 月～7 月  
引渡月： 2014 年 11 月  
場 所： 北海道中川郡  
設置容量： 1203.84kW(SF165-W×7,296 枚)  
施工会社： 非開示





## (6) 地域の環境保全活動について 〈2014 年度〉

### 各事業所の環境保全活動への参加

本社：まちかどクリーンデー  
毎月 10 日 年 12 回実施



本社：ゴミゼロクリーンデー  
5 月 25 日 中央区主催



大阪：大阪マラソン (クリーンUP)  
10 月 23 日



札幌：ラブアース・クリーンアップ  
6 月 1 日



静岡：田子の浦みなと祭り  
7月13日



仙台：仙台市新寺通り清掃活動  
9月19日



名古屋：とだがわの森感謝祭  
11月2日



広島：広島支店事務所ビル周辺  
清掃活動 11月7日



高松：中央通り一斉清掃  
8月7日



三島：四国中央市クリーンデー  
7月6日



福岡：ラブアース・クリーンアップ 2014

6月8日

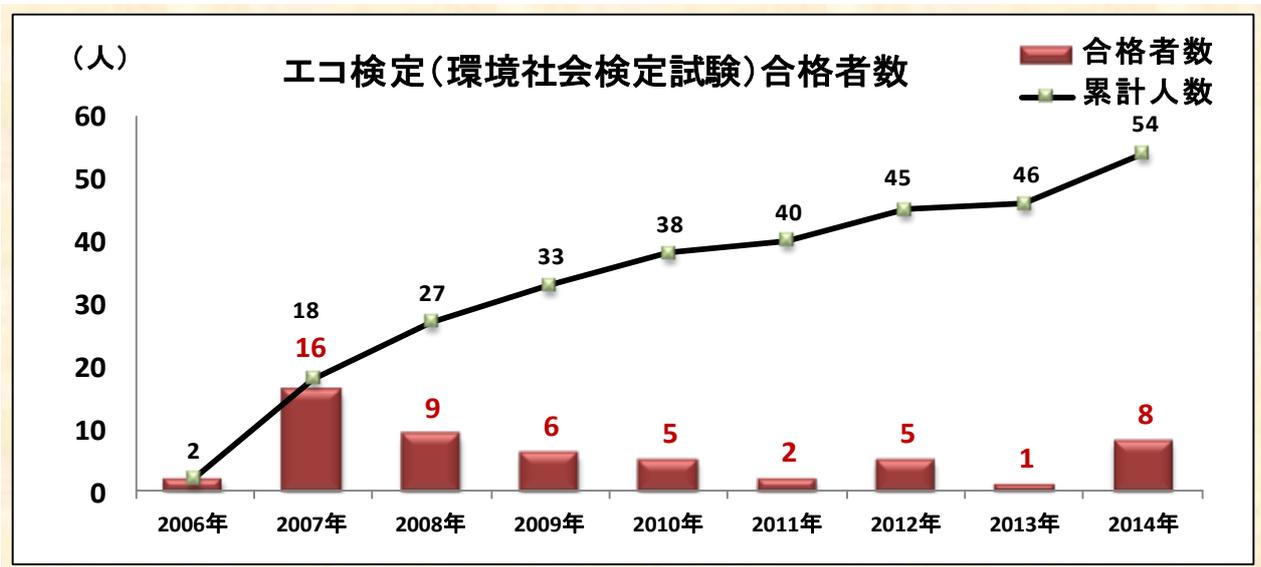


宇部：市民ボランティアによる

ガーデンづくり 6月21日



### (7) その他の環境活動について



当社は、第1回試験(2006年10月15日)より54名の合格者を輩出しています。

### 2014年度の合格者(8名)の紹介



『合格者の皆さん、これから何をするかが大事ですよ!』

総務人事部  
馬場 孝 副部長



『年々問題が難しくなっています。早めの受験を!』

環境薬品部  
吉村 宗人 チームリーダー





『受験を通じ環境分野の  
幅広さ複雑さを痛感しました!』

総務人事部  
鈴木 道成 チームリーダー



『南極の氷がこれ以上増えない  
ように息を止めてみます!』

名古屋支店  
阿部 和人 チームリーダー



『エコピープルとして引き続き  
環境活動に専念します!』

札幌支店  
下風 祐司 サブリーダー



『見た目はいかついですが、環境には  
優しい…そう僕はエコピーパーだ!』

化学品第一部  
黒田 勇樹 社員



『憧れのエコピーパーに仲間  
入りすることが出来ました!』

大阪支店  
橋本 朋洋 社員



『検定を受けて環境について  
意識が高まりました!』

化学品第一部  
山口 健太郎 社員

## (8) マニュアルの主な変更点

- ① 組織変更に伴い、大阪支社を**大阪支店**に改組し体制を見直した。
- ② 「EA21 実行計画(3ヶ年計画)」の作成を終了した。
- ③ 「関係する法律等の要求事項登録簿」の掲載を終了し、「関係する法律等の一覧と該当する事業所名」を追加した。
- ④ 「環境活動実施状況報告書」の書式を変更し、環境に対する効果を明確にした。
- ⑤ 「関係する法律等の要求事項遵守状況チェックリスト」の水質汚濁防止法・毒物劇物取締法・消防法・労働安全衛生法に要求事項を追加した。

## 7. 環境関連法規等の遵守状況（最近3カ年）

「環境関連法規」については、毎年4月に「ecoBRAIN」\*1で法律の改訂内容を確認し「法令遵守状況チェックリスト」を更新し、各部店は6月に遵守状況を確認しました。

(\*1:「ecoBRAIN」第一法規(株)の「ネット環境法令管理システム」)

**【違反等】** 違反行為、行政等からの指導、苦情及び訴訟は全くありませんでした。

### 【当社に該当する環境法令集】

法令	目的
<b>&lt;ケミカルセンター関係&gt;</b>	
[大気汚染防止法]	ばい煙の発生
[水質汚濁防止法]	有害物質の排出、浸透防止、漏洩事故時の報告
[廃棄物処理法]	廃棄物の処理
[労働安全衛生法]	役職員の健康と安全確保、化学物質の取扱い
[消防法]	建物防災、危険物の保管管理、消防活動阻害物質
[毒物劇物取締法]	毒物劇物の製造・保管管理、安全輸送
[海洋汚染防止法]	船受入時汚染防止、有害物質貯蔵設備の管理
<b>&lt;営業関係&gt;</b>	
[毒物劇物取締法]	毒物劇物の輸送・販売
[高圧ガス保安法]	高圧ガスの輸送・販売
[消防法]	危険物の輸送
[化管法] (PRTR 法)	SDS(安全情報表) の配布
[化審法]	新規物質の販売
<b>&lt;輸入関係&gt;</b>	
[毒物劇物取締法]	毒物劇物輸送時の安全・標記
[化審法]	一般化学物質の輸入数量の把握・報告
<b>&lt;総務関係&gt;</b>	
[労働安全衛生法]	役職員の健康と安全確保
[健康増進法]	事務所内分煙
<b>&lt;全社関係&gt;</b>	
[省エネルギー法]	エネルギー使用の効率化（当社非該当）

### 【2015年度登録簿への追加及び項目追加】

新たに追加した法令はありません。

### 【2014年度登録簿から削除】

新たに削除した項目はありません。

## 8. 代表者による全体の評価と見直し

### 『社長による全体の評価』

電力消費量は、エコデー\*1を増やしたことによる効果もあり減少した。ガソリン消費量は、公共交通機関等の利用促進とエコドライブ啓蒙活動の継続により減少した。

電力・ガソリン・紙の削減については、事業の拡大に伴い、今以上の大幅な削減は困難と考えられる。会社全体での思い切った施策が必要となることでもあり、目標値については、長期目標の見直しも含めて再検討していく必要がある。

外部監査の「指導事項」であるグリーン購入については、現状の購入率の把握を行なうこととする。

内部環境監査の方法を見直して3年目になるが、今までと変わらない高いレベルでの環境活動の維持管理を継続していく。

(\*1: 本社では、毎月第2第3水曜日に一斉退社を行っています。)

### 『社長による見直しと指示事項』

- ・環境方針 変更なし。
- ・実施体制 部門長・環境担当者・環境委員を新たに任命する。ケミカルセンターの環境関連書類については、引き続き各支店で管理することにする。
- ・環境経営マニュアル 内部環境監査の結果は「不適合事項：C」はなく、今後も実監査と書類監査を交互に実施していくことにする。  
なお、引き続き取組みの簡略化を検討していくこと。
- ・環境活動レポート 太陽光発電パネルについては、グラフ等を使用して、販売量の推移を分かり易く記載すること。  
グリーン購入については、購入率の把握を行なうこと。  
環境営業活動については、数値化は行なわなくて良いが、実績の上がった新規商品の商品名を記録していくこと。

## 9. 10周年記念表彰について

当社が2006年3月にエコアクション21に全社認証登録されてから10年目を迎え、2015年10月17日に一般財団法人持続性推進機構様より感謝状と記念品を贈呈されました。

《当社の取組みの歴史》

2002年 5月	EMS準備委員会発足
2003年 8月	パイロット事業に本社参加
2004年 10月	本社 認証取得
2006年 3月	全社統合 認証取得



## 10. 表紙の写真について

ユネスコの世界文化遺産である厳島神社は日本三景の一つであり、その中の大鳥居は日本三大鳥居の一つとして重要文化財になっています。

現在の鳥居は1875年の再建で、平安時代から8代目と言われており、高さ16.6m、重さ60トン、支柱は腐りにくく、虫に強いクスノキの自然木、袖柱は杉を使用しており、主柱は、1950年の修理時に根継ぎを行っています。

鳥居の根元は海底深く埋められているわけではありません。主柱の立つ基礎は、千本杭といって、松材の丸太杭を密に立てて、その上をコンクリートと花崗岩で固めてあり、鳥居上部の横柱には石が7トン詰められているため、その自重と硬い土台により地震や台風が来ても倒れることはありません。

近年、鳥居の亀裂部分に一部の観光客によって、硬貨が差し込まれるケースが多発し心配されています。そのような中でも次代の鳥居は地元宮島産のクスノキを使おうと、地元の人によってクスノキが植林されています。

(広島支店 大島 猛一)

### 環境活動レポート (2015年度版)

発行 2015年11月30日

ソーダニッカ株式会社 EMS委員会

〒103-8322 東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント

電話：03-3245-1818 fax 03-3245-1869

URL：http://www.sodanikka.co.jp

人に、自然に、やさしい環境を  
化学のチカラによって  
明るい未来を創造します。

人に美しい自然を子供たちに  
残すため、私たちは  
人と環境との調和を  
化学の多様性を駆使し、  
チャレンジしてまいります。



**ソーダニッカ株式会社**

東京都中央区日本橋 3-6-2 TEL : 03-3245-1818

<http://www.sodanikka.co.jp/>